



下恵土地区のごみ集積場

“これだけは”皆さんに守ってほしい！

◆ごみは正しく分別！

家庭から出るごみは、可燃ごみ・粗大ごみ・不燃ごみ（金物類・ガラス類・陶磁器類）・リサイクル資源などに分別できます。リサイクルすることはごみの減量化に繋がります。また、正しく分別することは集積場を管理する人、ささゆりクリーンパークで働く人や設備への負担も軽減できます。

◆ごみは正しい日に正しい場所に出す！

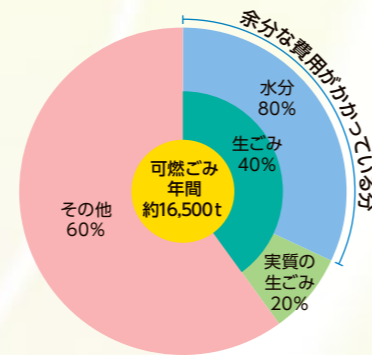
「朝は忙しいから前の日に出すわ——。」待ってください！あなたのごみが、動物に荒らされて散らばってしまいます。ごみは「指定の場所」、「集収日」、「朝8時まで」に出すよう、ご協力をお願いします。



「回収する人が積みやすいように」とごみをまとめてくれる市民

プラス “+ひと手間”の簡単ごみ削減！

ささゆりクリーンパークに運ばれている市の一般家庭からの可燃ごみの約40%が生ごみ、そしてその約80%が水分です。つまり、可燃ごみの約30%（5,280トン）の水分を焼却するために費用がかかっています。もったいないですね。こんなムダを削減するために、生ごみはしっかり絞り、水分をきってから捨てるようにしましょう！



小型家電の処分方法

小型家電には、金・銀・リチウムなどの地球上に少量しか存在しない貴重な金属（レアメタル）が含まれています。この貴重な資源を効率的に回収するため、市役所、市内14地区センター、エコドームに回収ボックスを設置しています。

小型家電回収ボックス



回収ボックスの投入口(30cm×15cm)に入るものが対象です

◆主な回収対象品◆

携帯電話、スマートフォン、パソコン（周辺機器含む）、タブレット端末、液晶モニター、電子辞書、ハードディスク、USBメモリー、オーディオプレイヤー、レコーダー、デジタルカメラ、ゲーム機（周辺機器含む）、電気延長コード、リモコン、ACアダプター、各種ケーブル、電子タバコ、リチウム電池（テープなどで絶縁してください）
※今年の4月から回収ボックスの投入口に入らないものは回収しません。

◆注意事項◆

- ・投入口30cm×15cmに入らない小型家電は、不燃ごみ（金物類）として出してください。
- ・携帯電話など個人情報が含まれるものは、あらかじめデータを削除してから出してください。
- ・電池類は取り外してください（発火する恐れがあるため）。
- ・一度ボックスへ投入した家電は返却できません。

“これも”知っておいてね！



◆話せても読めない
私の住む土田横町地区は、古くから住む人もいれば、新たに引っ越してくる人も多く、外国籍市民の方も増えています。
こんなことを言うと言語があるかもしれませんが、このような方の中には、日本語は話せるけど、文章を読むことはできないなど、生活する上での日本の文化や、可見市のルールを知らないという問題があります。もちろん、「困ったことがあれば聞いてください」と伝えてはいますが、「聞きに行くと」といってなかなか難しいようです。

◆正しいごみの出し方がわからない
綺麗なごみ集積場。気持ちがいいですね。こんな集積場だと週2回の収集日が待ち遠しくなります。と言うのも以前、私たちの自治会の一部では、スーパーの袋などで出されたごみや瓶・缶などの不燃ごみが、可燃ごみで出されていて、ごみ収集時に回収されない袋があったり、ごみが散乱したりと、ごみの出し方が徹底されていないことがあったんです。



令和元年度 土田横町 自治会長 田中 信治 さん



自治会で作成したポルトガル語・タガログ語・日本語で書かれたごみ出し案内板

◆目に見える変化
昨年の7月頃から集積場に案内板を設置しました。すると、今まで不適切に出されていたごみが徐々に減っていきましました。うれしかったですね。外国籍市民の方だけでなく、地域の皆さんが協力してくれた成果を、目で感じる事ができました。
他にも細かいことを言えば改善すべき点がありますが、これからも小さなことからコツコツ行い、キレイな集積場を保ちたいと思います。

◆ルールを伝えるために
ごみ出しの基本は、決まった日時に出す・決まった袋で出す・可燃物と不燃物を分けるこの3つです。
市役所に相談し、ごみの出し方の案内を日本語以外にも、ポルトガル語とタガログ語で作成しました。

こんなごみ捨てはやめて！

- 市の指定の袋を使っていない（袋に入っていない、スーパーのビニール袋で出されているなど）
- 瓶・缶などの不燃物が可燃ごみ袋に混ざって出される
- ネットなどがかかっておらず、動物に荒らされやすくなっている
- 指定の日、時間以外に出されている

